

ベトナム:VINACOMIN 環境保護を優先

8月14日付け地元報道によると、VINACOMIN は過去20年間、生産投資と事業開発と共に、環境保護に対して多大な注意を払ってきた。

VINACOMIN は、生産コストの1~1.5%を環境保護予算とし、グループ企業は各々の生産コストの0.3~0.5%を環境活動に充てた。環境保護の専門部門を設立し、管理職や環境担当者の環境意識を高めるための研修を定期的実施。環境保護分野の技術研究や人材開発訓練では、ドイツ、韓国、日本を初めとする国内外の組織と協力。

VINACOMIN は、坑内掘りでは木材削減を目指して、採掘技術の機械化を推進。露天掘りでは10m³シャベル掘削機・100トトラックなど設備の大型化、生産性の向上、燃料使用量の抑制・排気ガスの制限を推進。また、電気機器のソフト起動化による電力の大幅な節約、標準以下の石炭や鉱物のリサイクル、選炭場の高度化、低品位炭活用の発電所(Na Duong、Son Dong)を建設。

VINACOMIN の環境保護に向けた努力にて、現在では、石炭採掘段階での環境汚染の予防に成功。また、鉱山周辺の環境だけでなく、近隣の住居地区や都市部の景観も改善された。

(石炭開発部 辻 誠)

おことわり：本レポートの内容は、必ずしも独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構としての見解を示すものではありません。正確な情報をお届けするよう最大限の努力を行ってはおりますが、本レポートの内容に誤りのある可能性もあります。本レポートに基づきとられた行動の帰結につき、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構及びレポート執筆者は何らの責めを負いかねます。なお、本資料の図表類等を引用等する場合には、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構資料からの引用であることを明示していただきますようお願い申し上げます。